

広報

あさの実

令和5年 3月10日発行

第42号

発行者：麻生区青少年指導員会
事務局：麻生区役所地域振興課
Tel 044-965-5113
Fax 044-965-5201

青少年の健全育成に取り組む、麻生区青少年指導員会 広報紙

第38回 あさおわくわくウォーク



令和4年11月27日(日) 千代ヶ丘エリア

11月27日の日曜日に麻生区青少年指導員会主催の「第38回あさおわくわくウォーク」が開催されました。

令和元年度は当日雨天のために室内レクリエーションに変更となり、令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために中止としたため、わくわくウォークとして実施するのは4年ぶりとなりました。

今年は16チーム、61人の参加があり、内12チームは初参加。

各チーム、コマ図を片手に話し合いながら進んでいましたが、道に迷ってしまい何度も同じ道を戻ってしまうチームの姿もありました。そんな時は指導員がサポートします！ 交通量の多い場所は指導員が見守り、コースパトロールを行って参加者の安全を守りました。

全員が無事ゴールすると先にゴールしたチームから拍手がうまれ、温かい雰囲気の中、上位チームに表彰状と楯、副賞として地元産の美味しい野菜が贈られました。



スタート前やゴール後の待ち時間では、とてもよく飛ぶ紙飛行機の作り方を指導員が指導しました。

わくわくウォークって何？

地形の特徴だけが記載されている『コマ図』を頼りに、チーム丸となってゴールを目指すウォークラリーです。ゴールまでの時間とゲームやクイズの得点で順位が決まります。

ゲームポイント



ゲームポイントでは、「新聞紙投げ」「ラダーゲッター」「ペットボトルボーリング」「じゃんけん」にチャレンジ。チームで力と知恵を合わせて、高得点獲得につなげていました。

これが今回のコマ図！

麻生区役所がスタートとゴールです。



新聞紙投げ



ペットボトルボーリング



優勝チーム「NY21」

優勝した「NY21」は、なんと令和元年度の優勝チーム！連続優勝、おめでとうございます！

第40回あさお区民まつり

令和4年10月9日(日)
麻生区役所前広場・麻生市民館・
新百合トウェンティワンホール



4年ぶりの開催で、麻生区も区制40周年。コロナ対策をしながらどうやって皆さんに楽しんでもいただけるおまつりにするか…。青少年指導員はあさお区民まつり実行委員会の実施団体として、企画準備から地域の皆さんと一緒に頭を悩ませました。

幸い10月は感染状況も少し落ち着きをみせており、当日はしんゆりフェスティバルマルシェとの同日開催もあり、8万5千人もの来場がありました。

麻生区青少年指導員会は、催し物として「人間ビンゴ」「ふれあいコーナー」を実施したほか、ステージの運営やパレードの警備など、まつりになくてはならない存在として力を発揮しました。

ふれあいコーナー

缶バッジと新聞紙エコバッグ作りをしました。久しぶりのふれあい、ものつくりの楽しさに、参加者も指導員も笑顔が生まれました。



人間ビンゴ

参加者が数字になって参加する巨大ビンゴ！指導員のマイクパフォーマンスで数字が発表されると大きな歓声があり、大変盛り上がりしました。



麻生区青少年スポーツ活動振興会の活動

麻生区の青少年指導員は、地域青少年のスポーツ活動の振興を図る「麻生区青少年スポーツ活動振興会」の会員として、地域スポーツ事業の運営に携わっています。

第33回あさお区民運動会

令和4年10月23日(日)

麻生水処理センターあさおふれあいの丘

小学生によるリレー競争や大人も本気で走る長距離走、町会対抗の玉入れなど、大人もこどもも楽しめる運動会。素敵な参加賞ももらえます。



第33回小学生バドミントン大会

令和5年2月12日(日)

多摩スポーツセンター

区内に在住、在学する小学校1年生から6年生までの60人が、少年の部、少女の部に分かれてそれぞれの部門で優勝を競いました。



第33回小学生バレーボール大会

令和5年2月19日(日)

多摩スポーツセンター

町会・自治会、または小学校区単位の全12チームにより、地区対抗で行われました。青少年指導員は審判として、小学生の活躍を応援しました。



だるま市パトロール

令和5年1月28日(土)
麻生不動院周辺



土曜日の開催ということもあり、多くの親子連れや友達同士で遊びにきている子ども達も多く、混雑の中一層気を引き締めてパトロールを行いました。

明治の終わりごろから、関東納めのだるま市として、毎年1月28日に行われている「だるま市」は、普段は静かな住宅街に多くの露店が立ち並び、多くの人が訪れる麻生区の一大行事です。麻生区青少年指導員会では、地域の子ども達の安全を見守るため、ユニフォームを着てパトロールを行っています。

青少年指導員会では柿の実幼稚園内に本部を設置させていただき、会場と周辺のパトロールを実施しました。



川崎市青少年指導員研修会

令和4年12月11日(日)
カルッツかわさき



力は要せず対戦者、仲間の心を読みながら目標に向かう。そのシンプルなルールだからこそ戦略の奥深さがあると思えるようになりました。サッカーのような華やかさはありませんが、ボッチャは障害者のみならず子どもから高齢者まで老若男女を問わず誰もが楽しめる競技だと思います。

川崎市青少年指導員連絡協議会が主催する「川崎市青少年指導員研修会」では、人気のあるパラスポーツ「ボッチャ」に関する講習会・講演会が行われました。

正直なところ、東京パラリンピックで初めて競技を見たぐらいで、ルールも知らず、もちろんボールに触ったこともなく、それまで障害者だけのための競技だと思っていました。ところが本講習を受け、実際にボールを手にとると、いつの間にかジャックボールを目指し真剣に投球していました。

サッカーは鍛え上げられた肉体がぶつかり合い、対するチームの突破口を見出しゴールを目指す。一方、ボッチャは大きな

青少年の健全育成を進める県民大会

令和5年1月21日(土)
麻生市民館



かながわ青少年社会環境健全化推進会議が主催する、「青少年の健全育成を進める県民大会」が麻生市民館で開催されました。今年のテーマは、「青少年のために今できること(ポストコロナ時代の地域支援)」として、基調講演、パネルディスカッションが行われました。麻生区の青少年指導員は区指導員会の研修の一環として積極的に参加し、子どもを支援し居場所を作ることへの知見を深めました。

開催概要や基調講演の資料等を、神奈川県ホームページからご覧いただけます。



▲神奈川県の
ホームページ
はこちら

令和4年度 麻生区青少年指導員各種表彰受賞者

多くの活動が認められ、今年度は3名の指導員が表彰されました。

神奈川県青少年指導員表彰



伊藤 久史
(金程町会)

青少年指導員の委嘱を受けて早いもので21年が経過しました。ここまで続けられたのは、良き諸先輩や同僚、地域の方々に出会えたこと、家族の理解が得られたことと感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い今までとは異なる生活様式が浸透してきている中で、これからも地域の青少年の方々が健全に成長されるように貢献していけるような活動を持続するため、安心安全に心掛け、微力ではありますが地域に寄り添える活動がしていけたらと心を新たにしました。

神奈川県青少年育成活動推進者表彰



白井 孝昌
(細山町会)

青少年の健全な育成を願い、青少年指導員の仲間そして地域の方々とともにこれまで活動してまいりました。

この度、このような表彰をいただくにあたり、関係する皆様に深く感謝申し上げます。

これからもパトロール活動やさまざまなイベントを通して、地域に根差した青少年の健全育成活動に取り組み、次代を担う青少年が明るく元気に成長できるよう、今一度初心に立ち返って「できることから一歩ずつ!」地道な活動を継続していきたいと思います。

川崎市青少年健全育成功労者表彰



桂 明弘
(水暮町会)

この度は表彰をしていただきましてとても光栄に思っています。青少年指導員の委嘱を受けてまもなく15年を迎える時に、このような表彰を受けてこれからも精進していかなければと思いました。ここまで続けてこられたのも、素晴らしい仲間恵まれて活動できたからだと思います。

今後の課題として、指導員の次なる育成ができていない点があり、活動の一環として改善に少しでも取り組んでいければと思います。ありがとうございました。

あなたも青少年指導員として活躍しませんか?



麻生区では、第30期麻生区青少年指導員として地域における青少年の健全な育成活動を行っていただける方を募集しています。原則月2回、土曜日に行っているパトロールをはじめ、地域の夏祭りが開催される際の見回りや、「あさおわくわくウォーク」の企画・運営など、青少年の健全な環境保全に取り組んでいます。お仕事をされている方や、子育て中の方でも、無理のない範囲で活動していただけます。地域活動に興味がある方、地域の仲間を作りたい方、こどもの笑顔のために力を貸していただける方がいらっしゃいましたら、お気軽にお問合せください。



動画「あさおのこども達に『愛の一声』を～青少年指導員を紹介します～」の配信について



動画はこちら▲



麻生区YouTubeチャンネルにて活動紹介動画を配信中です。

麻生区青少年指導員会事務局(区役所地域振興課) ☎(965)5113 メール: 73tsin@city.kawasaki.jp

編集後記

本号は4ページにわたるボリュームとなりました。年度後半に事業が集中したこともあり、ようやく活動がコロナ禍以前に戻りつつあることを実感します。2月の小学生バドミントン・バレーボール大会は3年ぶりとなり、こども達の躍動する姿、元気ある声に喜びを感じました。

麻生区青少年指導員会 広報部

広報部

麻生区青少年指導員会 広報部

広報「あさの実」第42号 令和5年3月10日発行

佐藤 昇 平 石政 由美子 大 溝 孝
菊地 美佐子 白井 孝昌 鈴 木 浩
鈴木 章夫 渡 辺 孝一 渡 辺 元之